

## コンピュータチェック事例コード

48SJ990455220

## コンピュータチェック内容

初診料を算定した月に「P」病名及び「G」病名で画像診断及び歯周病検査の算定がなく、歯科疾患管理料が算定された場合にチェックを実施。

## コンピュータチェック根拠

やむを得ず初診月に歯周病検査が実施できなかった場合の歯科疾患管理料は、初診時の口腔内所見及び画像診断により歯周病に罹患していることが確認された場合に算定するとされています。

## グラフの見方

### 1 棒グラフ(該当レセプトの審査結果)

コンピュータチェックの対象となる診療行為(医薬品、特定器材)を算定している  
目視対象レセプト1万件当たり、当該コンピュータチェックの内容に該当したレセプト件数

### 2 折れ線グラフ(該当レセプトの査定・返戻割合)

コンピュータチェックの対象となった項目が  
査定・返戻となった割合

#### 【棒グラフ凡例】審査の結果

査定	返戻	: 設定根拠どおり
請求どおり 職員	請求どおり 審査委員	: 検証が必要

## 審査結果の概要

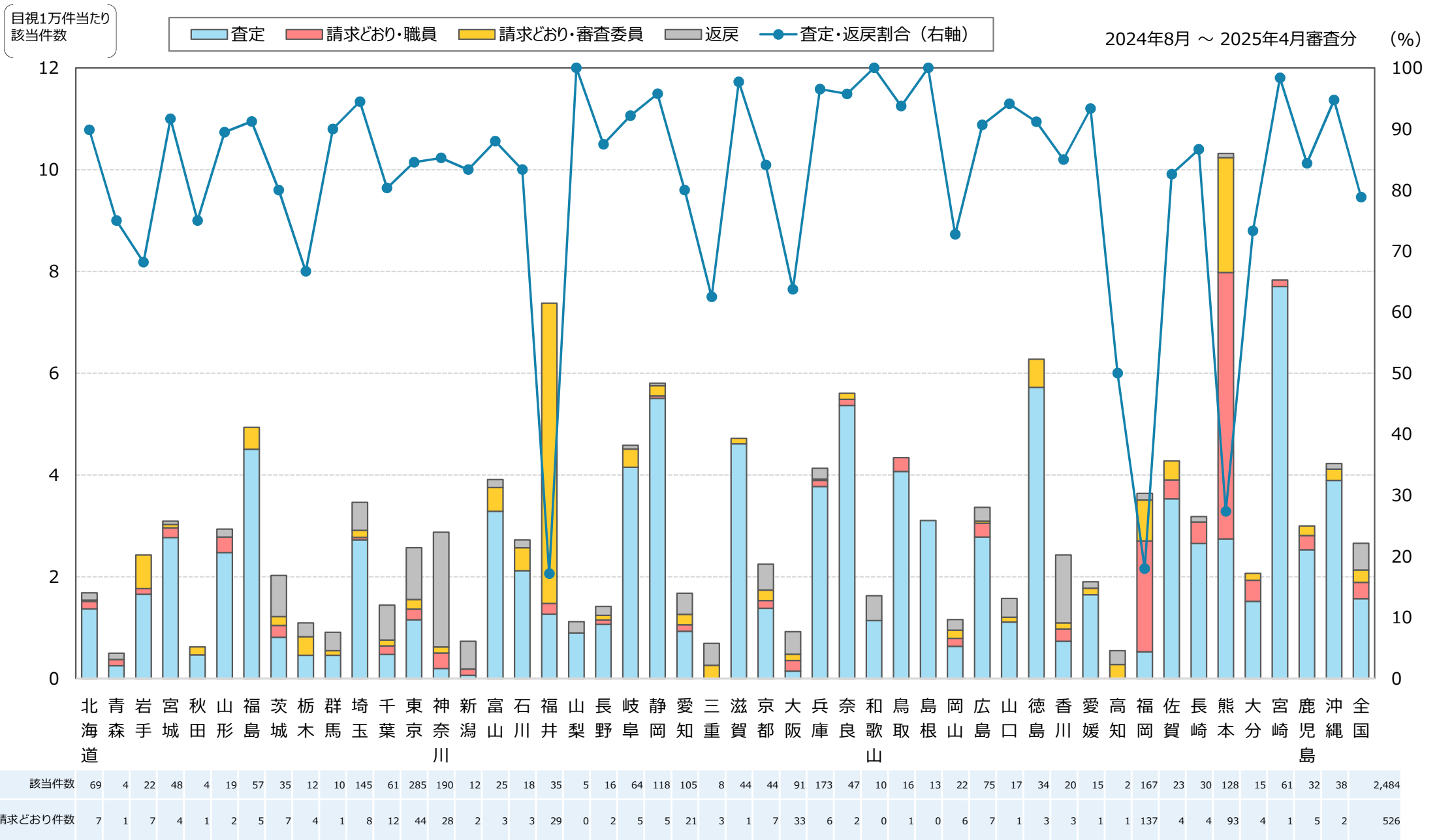
➤ 全国の査定・返戻割合 78.82%

➤ 検証対象都道府県 23

検証観点	都道府県※	備考
査定・返戻割合が低い	福井、福岡、熊本、高知、三重、大阪、栃木、岩手、岡山、大分、茨城、愛知、千葉、佐賀、石川、京都	査定・返戻割合の低い順
請求どおり・職員	熊本、福岡、長崎、大分、佐賀、山形、神奈川、鹿児島、香川、茨城、大阪、福井、東京、千葉、岡山、京都	対象1万件当たり件数の多い順
請求どおり・審査委員	福井、熊本、福岡、岩手、富山、石川、佐賀、栃木、高知、三重、愛知、京都、東京、鹿児島、茨城、岡山	//

※検証対象都道府県が16を超えたため、16都道府県を限度に表記している

該当件数(全国)	当該コンピュータチェックの内容に該当	2,484件
設定根拠どおりの審査	査定・返戻の計	1,958件
検証を必要とする審査	請求どおり	526件



【該当件数】当該コンピュータチェックの内容に該当したレセプト件数